

九州日本語教育連絡協議会 2012年度12月研修会
協働の学びの場を創るーテキストを協働で読む

「読解」と呼ばれる授業は、テキストの解読に陥ったり表面的な理解活動で終わったりすることが少なくありません。本研修では、「協働」をキーワードに、教室で学習者同士が協働してテキストを読むという活動を通して、教室で読むことの意義を考えます。

具体的には、参加者自らがテキストを協働で読むという体験をすることによって、テキスト理解、他者理解、自己理解を深めるということについて検討します。そのうえで、協働で読む授業をどのようにデザインするかをみなさんといっしょに考えたいと思います。

【内 容】

講 師： 館岡洋子（早稲田大学大学院日本語教育研究科教授）

日 時： 12月1日（土）13：00～17：00（受付開始12：30）

会 場： 福岡大学 七隈キャンパス A813教室（A棟の8階）（福岡市城南区七隈八丁目19-1）
（最寄り駅：地下鉄七隈線「福大前駅」）

参加費：1,000円（当日納入）＊今回は、会員や学生の割引はありません。

定 員：72名（先着順。定員になり次第締め切ります）

申込み／問合せ先：事前申し込み（必須）。

九州大学留学生センター：小山研究室宛（e-mail: koyama@isc.kyushu-u.ac.jp）。

＊受付が完了次第、返信致します。3日経っても返信がない場合は、研究室に直接お電話ください（092-642-2155）。不在の場合は、留守番電話に「お名前、連絡先」をお残しください。

主 催：九州日本語教育連絡協議会

共 催：スリーエーネットワーク

販 売：大谷書店

【スケジュール（予定）】

13:00 開会

・「ピア・リーディング」の紹介 ・学習者体験 ・事例紹介 ・参加者によるディスカッション

17:00 閉会

（途中、20分程度の休憩をはさみます）

■関連参考文献

- ・『日本語教育叢書「つくる」 読解教材を作る』（共著）スリーエーネットワーク 2012年
- ・『ピア・ラーニング入門ー創造的な学びのデザインのために』（共著）ひつじ書房 2007年
- ・『ひとりで読むことからピア・リーディングへー日本語学習者の読解過程と対話的協働学習』東海大学出版会 2005年

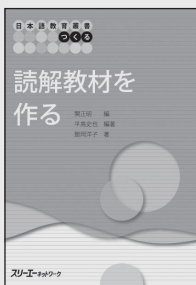
日本語教育叢書「つくる」 読解教材を作る

関正昭 編 平高史也 編著 館岡洋子 著

A5判、174頁、2,100円（税込） 好評発売中

教科書・教材作りのプロセスとノウハウをテーマ別にまとめたシリーズの、「会話教材」「漢字教材」に続く3冊目です。文章理解、読解行動など、教材を作る前に知っておきたい理論とともに、身近な素材を教材化するヒントやアイデア、教材開発の実例、また、読解授業のコースデザインや、ピアリーディングの手法を用いた授業の実践などが紹介されています。

さまざまな視点から、読解教育について考える際のヒントが得られる1冊です。



日本語教育叢書「つくる」 作文教材を作る

関正昭・土岐哲・平高史也 編 村上治美 著

A5判、200頁（予定）、1,890円（税込） 10月発売予定

教科書・教材作りのプロセスとノウハウをテーマ別にまとめたシリーズの「会話教材」「漢字教材」「読解教材」に続く4冊目です。作文教育の現状を踏まえ、教材を作成する上でのヒントやアイデア、教材開発の実例、教材を用いた指導や授業運営の方法が紹介されています。作文教育について考える際のヒントが得られる日本語教師必携の一冊です。

